



CORPORATE PROFILE | 会社案内



日本スペースイメージング株式会社

〒104-0031

東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン 20階

TEL: 03-5204-2727 FAX: 03-5204-2730

E-mail: jsi-info@jsicorp.jp

<https://www.jsicorp.jp/>

2020.01

日本スペースイメージング株式会社

Corporate Vision

宇宙からの情報で、社会の安心・安全に貢献

経済活動のグローバル化が加速する21世紀社会において、国境を越えたヒトやモノ、情報の動きは、ますます激しさを増しています。この劇的な変化の中で、社会は、地球規模の環境破壊や温暖化、想定を超える災害の発生、さらには、国境紛争やテロリズム、食の安全保障等、様々なリスクに直面しています。日本スペースイメージングは、全世界に広がるグローバルネットワークを最大限に活用することで、宇宙からの情報「地球観測衛星データ」による付加価値の高い情報を国内外のユーザへタイムリーに発信します。今後も社会の安心・安全に貢献できるソリューションをご提案するとともに、地球観測衛星データの一層の価値向上に努めてまいります。

トップメッセージ

日本スペースイメージング株式会社 (JSI) は、米国政府の軍事偵察衛星技術の商用化・事業化にいち早く着目し、米国ロッキード・マーティン社が始めた商用高分解能観測衛星ビジネスの日本における独占販売権を獲得した三菱商事株式会社により、1998年に設立されました。また、2013年11月には株式会社日立製作所が当社へ資本参加し、三菱商事の事業構築力と日立グループの技術力を背景とした衛星画像提供サービスの事業展開を行っております。

私たちがご提供している衛星画像は、安全保障分野はもとより、インフラ設備のモニタリング、防災を含めた国土管理、農地・森林の状況把握などの公共・民間分野でも幅広く利用されています。当社はまた、わが国のみならず世界市場を対象に活動分野を拡げつつあり、『世界を視野にいれた衛星画像ビジネスを拓き社会に貢献する』を企業ミッションの一つとして掲げております。

衛星画像はその広域性・再訪性から、我々の生活を支える重要な社会基盤として益々必要不可欠なものとなってきております。同時に、衛星画像そのものに加え、画像から抽出・生成した付加価値情報や3Dデータ等、お客様の業務に直接適用いただける製品・サービスを求める声が高まってきております。私たちは多様化するお客様のニーズに的確・迅速にお応えすべく、先進AI技術を活用して大量の衛星画像を解析することによる、地物抽出・変化検出・動向分析等の新たなサービスの提供にも取り組み、引き続き社会に貢献できる企業として成長することを目指します。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



CEO & President
KOJI UEDA
代表取締役社長

上田 浩史

事業紹介

地球観測衛星を、 より身近な情報ソースに

日本スペースイメージングは、高度な科学技術の集積である地球観測衛星を、利用者のニーズに合わせて最適運用し(撮影サービス)、画像作成・付加価値処理(衛星画像製品)、配信・解析(地理空間情報サービス)しています。これらの製品・サービスを組み合わせることで、費用対効果の高い、より身近な情報ソースとして地球観測衛星がますます普及するよう、皆様のご利用のお手伝いをいたします。



画像製品ラインナップ

Maxar Technologies社 高分解能衛星群

| | | |
|---|---|---|
|  | 82cm+4バンドマルチ IKONOS | 1999年打ち上げの世界初の商用高分解能衛星。運用終了により、アーカイブ画像のみの提供。 |
|  | 60cm+4バンドマルチ QuickBird | 2001年打ち上げの商用観測衛星。分解能・観測幅を向上。運用終了により、アーカイブ画像のみの提供。 |
|  | 50cmパンクロ WorldView-1 | 2007年打ち上げの商用観測衛星。優れた機動性を持ち、同一撮影軌道内ステレオ画像を効果的に整備可能。 |
|  | 40cm+4バンドマルチ GeoEye-1 | 2008年打ち上げの商用観測衛星。高い位置精度を持つ画像を撮影可能。地図の作成等に威力を発揮。 |
|  | 40cm+8バンドマルチ WorldView-2 | 2009年打ち上げの商用観測衛星。8つの波長帯のマルチスペクトルセンサーを搭載。従来の4バンド画像以上の詳細な分類が可能。 |
|  | 30cm+8バンドマルチ +8バンドSWIR WorldView-3 | 2014年打ち上げの商用観測衛星。商用衛星世界最高の分解能と8バンドマルチスペクトルセンサーを搭載。短波長赤外センサー(SWIR)も搭載、これまでにない解析を実現。 |
|  | 30cm+4バンドマルチ WorldView-4 | 2016年打ち上げの商用観測衛星。商用衛星世界最高の分解能(パンクロマティック31cm、マルチスペクトル1.24m)を持ち、今までにない高解像度画像が提供可能。運用終了により、アーカイブ画像のみの提供。 |

e-geos社 衛星

| | | |
|---|-----------------------------------|--|
|  | 全天候型レーダー衛星 COSMO-SkyMed | XバンドのSAR(合成開口レーダー)センサーを搭載する観測衛星。天候を問わない高頻度の定期的モニタリングを実現。 |
|---|-----------------------------------|--|

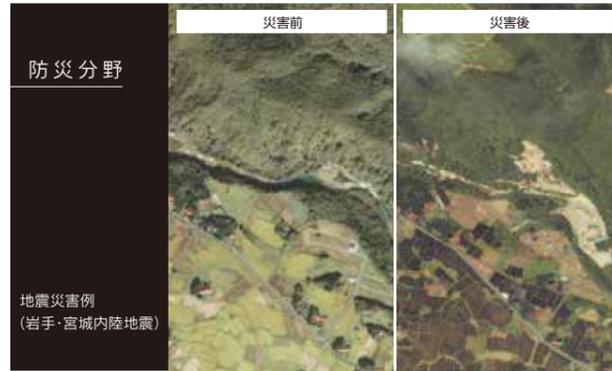
撮影サービス

日本スペースイメージングは、日本を中心とする東アジア地域における撮影優先権を有します。特にGeoEye-1衛星については、日本スペースイメージング自らが優先撮影時の計画を行います。東京本社のオペレーション施設から、日本上空に飛来する衛星に対して、撮影指示(タスキング)を行います。撮影された画像データは都度、本社施設に高速伝送され画像製品化されます。社内に撮影・生産体制を持つことで、当日の気象情報や緊急撮影ニーズに基づくタイムリーかつフレキシブルな対応を可能にしています。災害などの緊急時に威力を発揮します。



様々な分野の調査分析、計画立案に貢献

世界初の商用高分解能衛星IKONOSの打ち上げから約20年が経ち、衛星画像は様々な業務で利用されています。地球上のどこでも均質なデータを定期的に観測することができる衛星の特徴を生かし、今後も活用の幅を広げていきます。



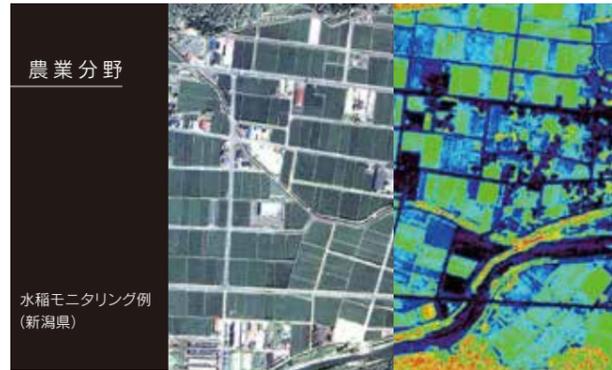
■ 災害対応

広域で発生した災害の状況を迅速に撮影できます。光学衛星・合成開口レーダー衛星(SAR衛星)を組み合わせ、数百平方キロ以上の広範囲を昼夜、天候を問わない撮影を実現します。



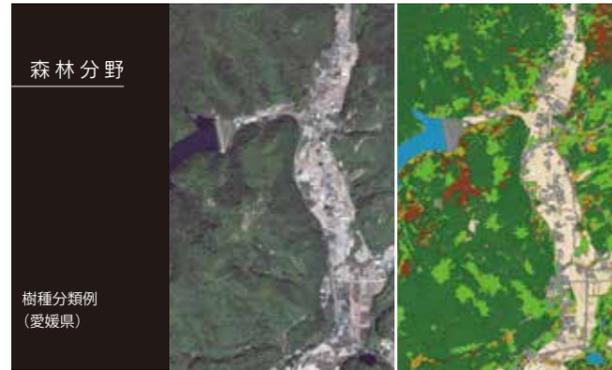
■ 緑被率算定 ■ 土地被覆分類図

緑地計画を立案する際に作成されている緑被マップ(植生の領域を抽出)から、緑被率を算定することが可能です。水域や都市域といった分類を追加し、土地被覆分類図を作成することも可能です。



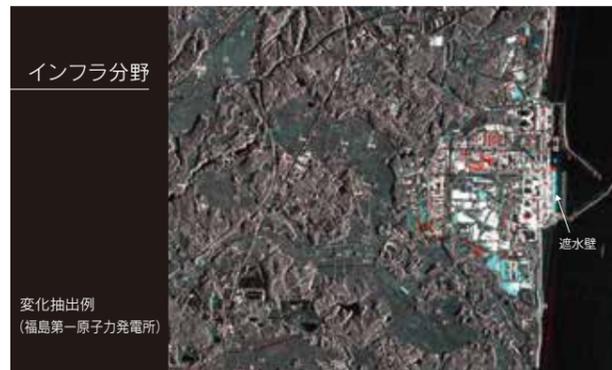
■ 生育モニタリング ■ 圃場ポリゴン作成

生育モニタリングや収穫順位の決定など、営農判断を支援する空間情報を提供します。農地台帳をGISで管理する際に必要な農地マップ(圃場ポリゴン)も衛星画像から作成することが可能です。



■ 樹種分類 ■ 伐採地推定

森林面積の計測はもとより、代表的な針葉樹であるスギやヒノキについては画像上で分類することが可能です。複数時期の画像を比較することで、伐採された領域を推定することも可能です。



■ 施設管理状況 ■ 変化抽出

施設の変化状況を定期的にモニタリングすることが可能です。合成開口レーダー衛星(SAR衛星)の複数時期の画像を重ね合わせて処理することで、変化した箇所を抽出することも可能です。



■ 地表面変位量推定

地殻変動や地下水の汲み上げに起因すると考えられる地表面の変位量(隆起・沈降)をミリ単位で計測することが可能です。計測結果の時系列グラフ化により、どれ位の期間で、どの程度変位しているのか確認できます。

会社概要

Corporate Profile

| | |
|--------|---|
| 社名 | 日本スペースイメージング株式会社(略称:JSI) (英文名:JAPAN SPACE IMAGING CORPORATION) |
| 設立日 | 1998年(平成10年)5月11日 |
| 取引銀行 | 三菱UFJ銀行 本店 |
| 資本金 | 4.9億円 |
| 主要株主 | 株式会社日立製作所 三菱商事株式会社 |
| 代表者 | 代表取締役社長 上田 浩史 |
| 所在地 | 〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン 20階 |
| TEL | 03-5204-2711(代表) |
| FAX | 03-5204-2730 |
| URL | https://www.jsicorp.jp/ |
| 測量業者登録 | 第(4)-28024号 |

沿革

Outline

- 1998 ・当社設立
- 2000 ・IKONOS衛星画像を販売開始
- 2001 ・当社地上システムによるIKONOS衛星の受信運用開始
- 2007 ・日本全域を1m分解能で整備したIKONOS ONLINE(衛星画像配信サービス)を販売開始
- 2009 ・GeoEye-1衛星の受信運用および画像販売を開始
・COSMO-SkyMed衛星画像を販売開始
- 2012 ・日本全域を50cm分解能で整備したJ-IMAGE+50(衛星画像配信サービス)を販売開始
- 2013 ・株式会社日立製作所が筆頭株主として資本参加
- 2014 ・QuickBird、WorldView-1、WorldView-2、WorldView-3衛星画像を販売開始
- 2016 ・VRICON社3D製品を販売開始
- 2017 ・日立ソリューションズ社GeoMation(GISソフト)を販売開始
・東京都中央区京橋へ本社移転
・WorldView-4衛星画像を販売開始
- 2018 ・ダイナミックモザイク製品(色調補正されたベースマップ)を販売開始
・データ定額制衛星画像利用サービスEarthWatch(現SecureWatch®)を販売開始
・ASNARO-2衛星画像を販売開始

アクセス

Access

- 東京メトロ銀座線 京橋駅7番/8番出口直結
- 東京メトロ有楽町線 銀座一丁目駅7番出口から 徒歩5分
- 都営浅草線 宝町駅A5番/A6番出口から 徒歩3分
- 東京駅 八重洲地下街5番出口から 徒歩5分

